

第121期

株主の皆様へ

平成28年4月1日～平成28年9月30日

121th
SHOWA
PAXXS
REPORT

常にお客様への感謝の心を持ち、 品質保証と物流の革新を通して、 社員の成長を求め、社会に貢献する。

当社は、産業用包装資材の製造販売を行っております。重包装袋業界ではトップシェアを誇ります。

設立以来、お客様からの、こんな物を包みたい・運びたいというご要望に対し、メーカーとしてのこだわりを持って、一つ一つ応えていくことで技術力に磨きをかけてきました。その積み重ねと、常にプラスワンの展開を心がけることで、昨年12月には設立80周年を迎えました。

創立100周年の未来に向けて

袋は、内容物を使用する際には捨てられてしまうものではありませんが、内容物を保護するだけでなく、お客様の製品を包装している間はお客様の顔となります。このことにプライドと責任を持って、80周年という歴史に安住することなく、100周年の未来に向けて、長期持続的な企業価値の向上を目指していきます。

社長メッセージ

第121期の取り組みのポイント

- 総合的競争力のあるものづくり体制の確立 …………… 製品の品質を維持しつつ、採算性を向上させる。
- グループ全体での売上数量の増加とシェアアップ ……… 新規開発したSVパックをはじめとする底貼袋とフィルム製品を重点分野に、売上数量を積み上げる。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。
当社は第121期（平成28年4月1日～平成29年3月31日）の前半を終了いたしましたので、その概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、前半は円高の進行と株安で景況感が悪化したものの、後半は生産活動が持ち直し、景況感もやや改善しました。しかし、景気回復は総じて力強さに欠け、停滞状態から脱しきれておりません。

このような状況の中で当社グループは、円高の影響で海外子会社の売上が目減りしたこと等により減収となりましたが、コスト低減等に努めた結果、増益となりました。

連結売上高は10,040百万円で前年同期比△454百万円でした。損益では営業利益601百万円（前年同期比＋16百万円）、経常利益647百万円（前年同期比＋23百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益430百万円（前年同期比＋11百万円）となりました。



代表取締役社長 大西 亮

セグメント情報

フィルム製品

【事業説明】

加熱収縮を利用した大型包装用シュリンクフィルム「エスタイト」、フィルムの弾性を利用したパレットストレッチフィルム「エスラップ」、また食品トレーに貼り合わせする印刷用ポリスチレンフィルム「エスクレア」を主とする産業用フィルム。そして、高い防霧効果と流滴持続性を持ち合わせた農POフィルム「キリヨケバーナル」「スーパーバーナル」、また軽くて作業性に優れた「農サクビ」や果樹専用フィルム「フルーツ物語」などを主とした農業用フィルム。どちらも、環境に優しいポリエチレン樹脂とポリスチレン樹脂を主原料として、製造・販売されています。

【事業概況】

当社のフィルム製品の売上数量は、依然として低迷から抜け出せず、産業用・農業用とも減少して、合計では前年同期比△5.9%でしたが、7～9月期は減少幅を縮小しました。

【主力製品】



(産業用)



(農業用)

コンテナ

【事業説明】

一度に大量の粉粒物を輸送するための、500kg・1t用のワンウェイフレコン「エルコン」、5t・20フィート用を主力とした大型ドライコンテナ用インナーバッグ「バルコン」、また液体輸送用の1,000ℓポリエチレンバッグ「エスキューブ」やコンテナライナー「エスタンク」を製造・販売しています。

【事業概況】

当社の「エルコン」の売上数量は、自社製品・輸入販売品とも減少し、全体では前年同期比△1.8%でした。「バルコン」は増加しました。液体輸送用では「エスキューブ」は増加、「エスタンク」は横ばいでした。㈱アサノ通運が開発した液体バルク輸送システム「ソフトタンク」の専用ポリエチレン内袋を新商品として上市しました。

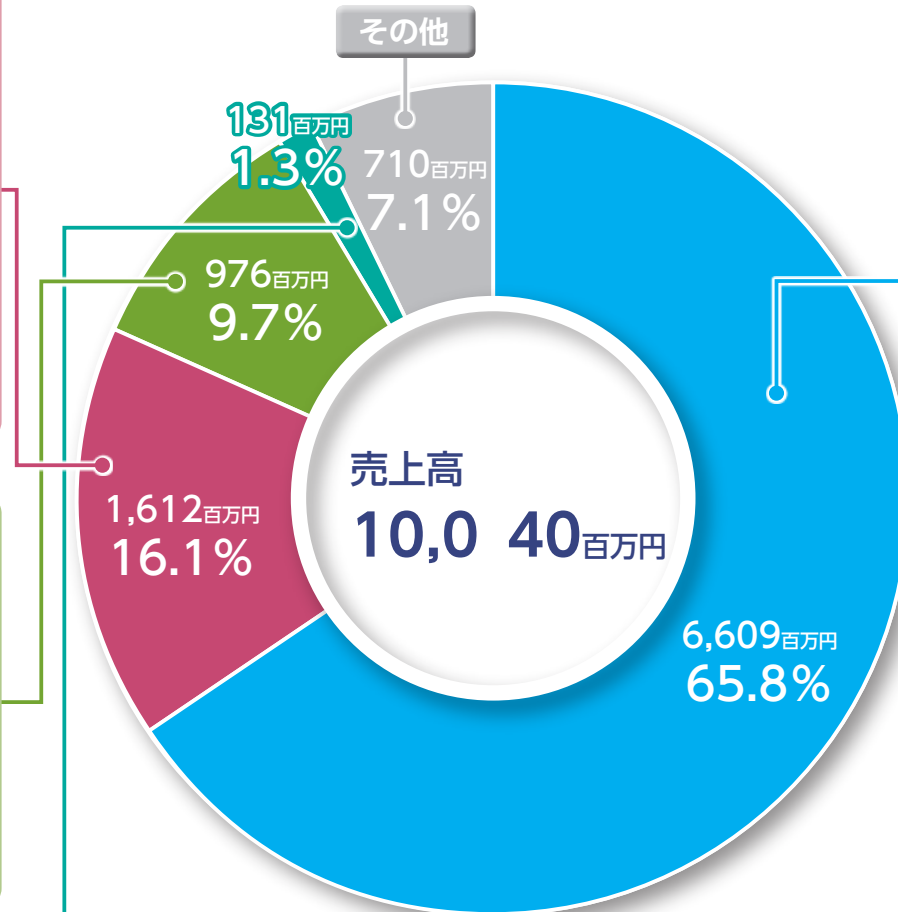
【ソフトタンク】



不動産賃貸

【事業概況】

賃貸用不動産および賃貸契約内容に大きな変動はありませんでした。



重包装袋

【事業説明】

プラスチックの原料等化学工業製品、玄米・精米等の農産物、小麦粉・塩・砂糖等の食品、他にもペットフード、化学肥料、培土等多様な物品を、包装する紙袋・ポリエチレン袋に加え、粉用新製品SVパックを製造・販売しています。内容物の特性や顧客の要望に応じて、ガスバリア・イージーオープン・超防湿・環境負荷低減等の機能を付加しています。また一昨年から、米麦袋の全製造ラインにトレーサビリティシステムを設置し、取引先からの品質管理強化の要望に応えています。

【主力製品】



【事業概況】

当社のクラフト紙袋の売上数量は前年同期比で△1.9%でした。業界全体で米麦袋が大きく減少する中で、当社は米麦袋の減少は5.1%にとどめましたが、主力の合成樹脂用途が減少しました。製粉、塩、その他食品、化学薬品などの用途は増加しました。

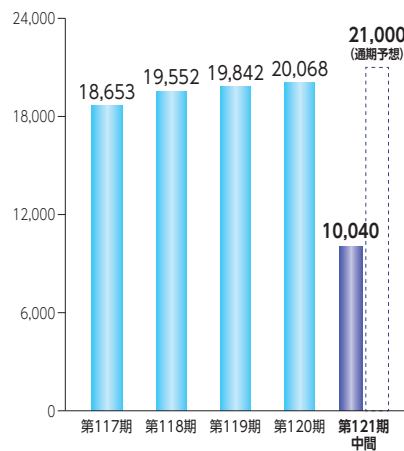
【通期の見通しと課題】

第3四半期以降も、新興国経済の減速や円高の影響等、日本経済の不安要因は尽きませんが、引き続き当社グループは一丸となって、取引の拡充と適切な利潤の確保に努めてまいります。

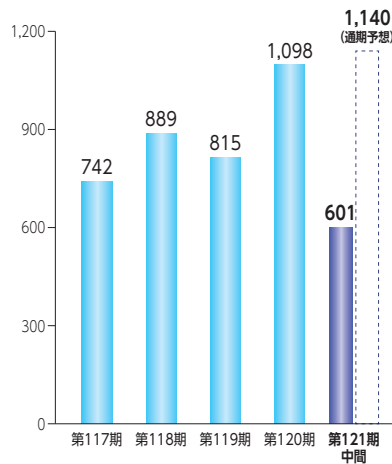
通期の業績見通しについては、当初の予想を変更せず、売上高21,000百万円（伸長率4.6%）、営業利益1,140百万円（伸長率3.8%）、経常利益1,220百万円（伸長率3.4%）、親会社株主に帰属する当期純利益830百万円（伸長率0.6%）を見込んでおります。

連結財務ハイライト

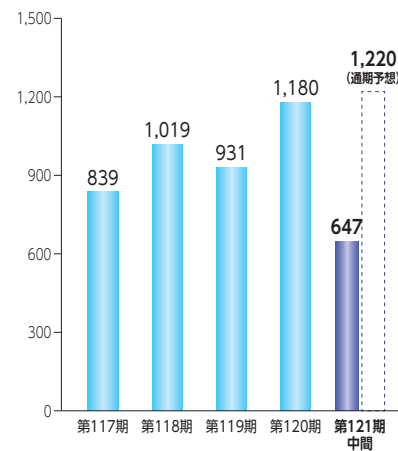
売上高 (単位：百万円)



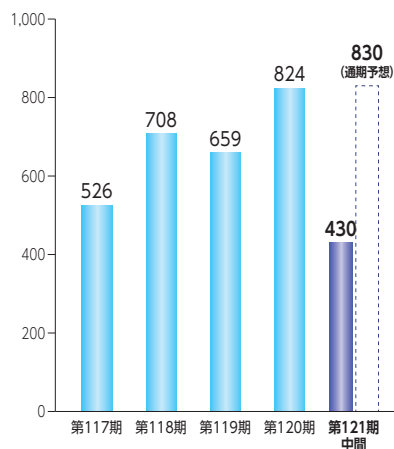
営業利益 (単位：百万円)



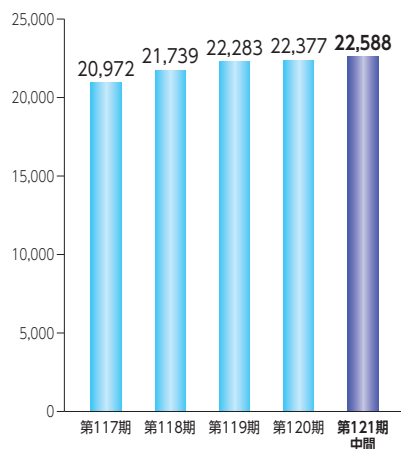
経常利益 (単位：百万円)



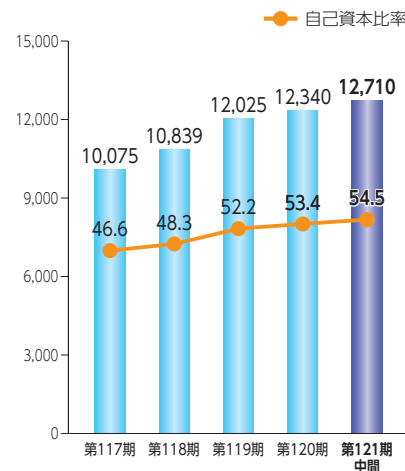
親会社株主に帰属する
四半期（当期）純利益 (単位：百万円)



総資産 (単位：百万円)



純資産 (単位：百万円) / 自己資本比率 (単位：%)



トピックス

BAX簡易ケーサー特許出願

BAXを簡易に封緘できる装置を開発し、特許を出願しました。

BAXは、砂糖等個包装製品の集積包装に適した紙袋です。小ロット対応のお客様や、他の包装資材からの変更を検討されているお客様でも、設備投資の負担をできるだけ少なく、封緘作業を手作業から機械化することが可能です。



両底貼り袋特許査定

既に出願していた、新しい製法の両底貼り袋に、特許査定が行われました。

(内容：袋の内力紙に穴を開けバルブ口を形成し、内容物の漏れの抑制率を上げた両底貼り袋)

タイ昭和パックス(株)ピンチボトマー更新



タイ昭和パックス(株)では、取引先からの製法変更の要望に応えるため、ピンチボトマーの更新を行いました。

株式併合と単元株式数の変更に関するお知らせ

第120期定時株主総会の決議に基づき、平成28年10月1日をもって株式併合（2株を1株に併合）を実施するとともに、単元株式数を1,000株から100株に変更しております。

なお、この件に関して、株主様の特段の手続きは不要です。

会社概要（平成28年9月30日現在）

- 設立
昭和10年12月20日
- 資本金
6億4,050万円
- 主要な事業内容
クラフト紙袋、樹脂袋、合成樹脂製品の製造販売および
各種包装容器、包装材料、包装関係機械の製造販売
- 主要な事業所
本 社 〒162-0845
東京都新宿区市谷本村町2番12号
電話 03(3269)5111

支 店 大阪、西日本(山口)、中部(名古屋)、東北(仙台)
工 場 東京(埼玉)、防府(山口)、富山、亀山(三重)、
盛岡(岩手)、掛川(静岡)

子会社 九州紙工(鹿児島)、ネスコ(東京)、
山陰製袋工業(島根)、山陰パック(島根)、
昭友商事(東京)、タイ昭和パックス(タイ王国)

当社の株式の状況（平成28年9月30日現在）

- 発行可能株式総数 26,900,000株
- 発行済株式の総数 8,900,000株
(注)平成28年10月1日を効力発生日として、株式併合(2株を1株に併合)を行っております。これにより発行可能株式総数は13,450,000株、発行済株式の総数は4,450,000株となっております。

- 株主数 1,053名
- 大株主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株 式 会 社 サ ン エ ー 化 研	1,693	19.1
新生紙パルプ商事株式会社	1,675	18.9
株式会社三菱東京UFJ銀行	270	3.0
特 種 東 海 製 紙 株 式 会 社	260	2.9
株 式 会 社 み ず ほ 銀 行	160	1.8
農 林 中 央 金 庫	150	1.7
株 式 会 社 鹿 児 島 銀 行	140	1.6
昭和パックス社員持株会	138	1.6
岡 本 知 久	110	1.2
岡 本 圭 介	100	1.1

(注)持株比率は自己株式(19,780株)を控除して計算しております。

株主メモ

- 事 業 年 度 4月1日～翌年3月31日
- 定 時 株 主 総 会 毎年6月
- 期 末 配 当 金 支 払 株 主 確 定 日 3月31日
- 中 間 配 当 金 支 払 株 主 確 定 日 9月30日
- 基 準 日 定時株主総会については、3月31日その他定款に定めがある場合のほか、必要があるときはあらかじめ公告する一定の日
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
本店証券代行部
- お 取 扱 窓 口 お取引の証券会社等。特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店。
- 特別口座管理機関 お 取 扱 店 みずほ証券およびみずほ信託銀行
フリーダイヤル 0120-288-324
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)
- 未 払 配 当 金 の お 支 払 みずほ信託銀行 本店および全国各支店
みずほ銀行 本店および全国各支店
(みずほ証券では取次のみとなります)
- 単 元 株 式 数 100株
- 公 告 方 法 電子公告により、当社ホームページに掲載
ただし、事故その他やむをえない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載

役員（取締役および監査役）（平成28年9月30日現在）

- 代表取締役社長 大 西 亮 営業本部長
- 常 務 取 締 役 土 田 隆 夫 タイ昭和パックス(株) 代表取締役社長
- 常 務 取 締 役 花 山 宜 久 (株)ネスコ 代表取締役社長
- 取 締 役 飯 崎 充 管理本部長
- 取 締 役 森 文 男 生産本部長
- 常 勤 監 査 役 佐 藤 隆
- 監 査 役 宮 本 貞 彦 新生紙/パルプ商事(株) 常勤監査役
- 監 査 役 山 本 明 広 (株)サンエー化研 取締役

※宮本貞彦氏および山本明広氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。